



# 波紋

認定特定非営利活動法人  
教育活動総合サポートセンターだより  
「波紋」 第13号  
発行人 藤田 力  
題字デザイン・山口正勝

発行所 教育活動総合サポートセンター  
〒213-0033 川崎市高津区下作延5-11-8  
TEL : 044-877-0553 FAX : 044-877-0980  
E-mail : support0731@luck.ocn.ne.jp  
ホームページ : http://www.kks-support.sakura.ne.jp/  
印刷 西桜印刷株式会社  
TEL : 03-3568-2543

## 特定非営利活動法人の認定を取得して

- いったんその公益性を
- ひろく一般からの支持を
- さらなる体力強化を

本年度もどうぞよろしくお願いいたします

認定NPO法人 教育活動総合サポートセンター

理事長 藤田 力

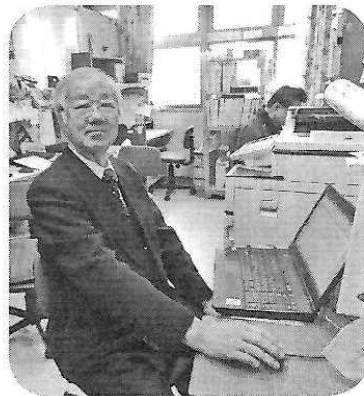
サポートセンター設立から13年  
め、平成28年度がスタートしまし  
た。今年度は役員改正年度であり  
ます。3月5日の理事会、ならび  
に総会におきまして理事長に再任  
されました。設立の精神をモット  
ーに、120人を超える活動会員  
とともに努めてまいりたいと思ひ  
ます。

設立時の念願のひとつに、サポ  
ートセンターの存続と体力強化を  
裏打ちする財政面の健全化があり  
ました。そのためには「認定NP  
O法人」を取得し、税制上の優遇  
措置を受ける必要性がありました。  
この念願が平成27年12月18日にか  
ないました。川崎市長から「認定  
NPO法人」の認可を得ることが  
できたのです。これまで申請事務  
を進めてこられた佐々木前理事長  
はじめ事務局、経理部諸氏の並々  
ならぬ努力の成果であると感謝し  
ております。

税制上の優遇措置を受けるに当  
たり、これまでの「NPO法人」  
より、いっそう高い公益性が求め  
られることとなります。それは、  
広く一般から支持を受けているか  
活動や組織運営が適正に行われて  
いるか、より多くの情報公開がな  
されているか、という判断であり

ます。「社会に対する貢献」とい  
う新たな視点で見える必要があるの  
です。

そのため、設立当初からサポー  
トセンターの活動にご支援をいた  
だいた行政機関関係者、市内学校  
等教育機関に加え、私たちの願ひ  
である「子たちに力を」に賛同す  
る公共団体、企業からのご支援・  
ご協力を多くいただくことになる  
と思ひます。サポートセンターの  
存続と、さらなる体力強化に向け  
てがんばりたいと思ひます。



### 認定NPO法人とは？

認定を受けると、寄付をされた  
方々は税制の優遇が受けられるの  
で継続的な寄付が可能となり、企  
業等は寄付により法人税が軽減さ  
れます。また、社会的信頼性が向  
上し補助金等も獲得しやすくなり  
ます。さらに一層の情報公開によ  
りNPO法人の団体としての透明  
性が増すなど、今まで以上のメリ  
ットが考えられます。当サポート  
センターも認定NPO法人として  
社会的責任・貢献の度合いも大き  
くなります。

## 28年度活動方針・事業計画

「子たちに力を」の法人設立の  
理念に基づき、各事業が効果的に  
活動できるよう組織機能の一層の  
充実を図る。

### 1 活動方針

- ① 基礎基本を重視した学習支援の  
充実と多様な体験活動の実践
- ② 家庭・学校・地域および関係機  
関等との連携と相談活動を中心  
とした社会福祉活動の充実
- ③ 一人ひとりの児童生徒の自立  
と、心豊かな生きる力を身に付  
けるための支援

### 2 事業計画

- (1) 教育・福祉に係わる相談事業
  - ① 教育・福祉相談事業  
不登校児童生徒、特別な教育的  
支援を必要とする児童生徒、不  
適応、問題行動等のある児童生  
徒や保護者との相談活動の推進
  - ② 不登校等に悩む保護者の会事業  
川崎市教育会館・相談事業  
不登校やいじめの等の諸問題に  
ついて、教員等からの相談と支  
援
  - (2) 適応指導に関する事業  
不登校、問題行動等に悩む児童  
生徒およびその保護者への学習  
支援・相談活動
    - ・ こどもサポート南野川事業
    - ・ こどもサポート旭町事業
    - ・ こどもサポート宮ノ下事業
  - (3) 体験活動等に関する事業
    - ① ふれあい体験活動  
不登校児童生徒や障害のある児  
童生徒を対象にした体験活動に  
よる支援
    - ② 麻生のびのびファーム事業  
農業体験を通じた食育活動
    - (4) 学習支援に関する事業
      - ① 学習支援事業  
不登校、学習不振に悩む児童生  
徒に対する学習支援
      - ② 外国籍児童生徒学習支援事業
      - ③ 学習支援・居場所づくり事業  
生活困難世帯の中学生への学習  
支援や居場所づくりにより、円  
滑な学校生活・進学への学習を  
支援
      - ④ 学習支援川崎教室
      - ⑤ 学習支援幸教室
      - ⑥ キッズセミナー事業
      - ⑦ サイエンスキッズ事業
      - ⑧ 地域の寺子屋事業
      - ⑨ 寺子屋「西生田」
      - ⑩ 寺子屋「高津」
      - ⑪ 寺子屋「上作延」
    - (5) 特別支援教育に関する事業
      - ① 特別支援教育事業  
個に応じた教材・教具の開発、  
自立支援
      - ② 発達障害のある児童生徒の保護  
者への支援
      - (6) 研究研修に関する事業
        - ① 研究事業  
今までの委託研究等の研究成果  
をもとに児童生徒を取り巻く課  
題の自主研究を推進
        - (7) 青少年の健全育成を図るための

### 大山街道ふるさと館

平成26年からふるさと館の指定管理を受け3年目を迎えます。講演・講座、各種の展示事業を拡充、地域活性化事業の推進など、さらに進めていきます。

今年度は、館の利用者を増強することを目標に、新たにいくつかの自主事業を展開してまいります。

小中学生に向けても、子ども探検クラブ、近隣校への出前授業・職場体験など地域学習の支援も強化していきます。(對馬)

### 初任者研修等指導員配置事業

川崎市の公立小・中学校に採用された初任者の先生方を対象に、退職校長等を中心に各学校に配置し、研修を行っています。教科指導や学級経営に日々苦勞している初任者の課題解決に向けて、いろいろな視点から指導・助言をしてきました。初任者を元気づけることも大切にして応援団という気持ちで、これからも努力していききたいと思います。(入山)

### キッズセミナー事業

7月下旬に開催されるキッズセミナーは川崎市生涯学習財団との共催事業です。国語、社会、算数など8教科領域、23講座を開設し、小学3年生から6年生の子どもたちが、体験や実験を中心に学習します。

平成27年度には、受講者数は419人、延べ人数865人になりました。

今年度は、7月25日から29日までの5日間予定しています。多数の参加を期待しています。(菊池)

### 教育サポーター配置事業

川崎市教育委員会からの受託事業で、市内小・中・高等学校に指導補助者として大学生を中心に教員経験者、地域の協力者等を配置しています。現在、小学校各校に1〜6人、中学校・高校に1〜3人、市内小・中学校165校全校に配置(高校1校)600余人の方がサポーターとして活動しています。そして、それぞれの学校の状況に応じた対応に努めています。各学校からはサポーターへの信頼と期待の声が届いています。(相川)

### 「輝け☆明日の先生の会」

「グループ協議では素敵な助言者の方々に出会えた。あの団結力を忘れずに採用試験、そして川崎の教員としてともがなばつていきたい」と今年で10年目を迎えた輝け☆の受講生の振り返り。現職やOBの皆さまの実践や経験からの指導に感謝いたします。教育の現状、児童生徒理解と授業づくりを短期の全7回で講座・ゼミを行いました。ニーズの高さと受講料無料のためか111名の臨任・非常勤・社会人・大学4年生が受講しその中の37名の出身者が小中高の子どもの前で輝く姿を見せてくれると思います。今年も活気ある講座とゼミの会にしていきたいと思っております。(石川)

- ① 初任者研修等指導員配置事業  
新規採用教員の資質向上を図るための指導員配置
  - ② 教育活動サポーター配置事業  
学校の要請により、学習サポーターを配置
  - ③ 特別支援サポーター配置事業  
特別な教育的支援が必要な児童生徒の指導に関わる学習サポーターを配置
  - ④ 輝け☆明日の先生の会事業  
教員志望者対象の講義・ゼミナールの開催
  - ⑧ 講演会等の事業
  - ① 不登校児童生徒に関するパネルディスカッション
  - ② 不登校等に関する講演会開催
  - ⑨ 文化活動推進に関する事業
- ① 大山街道ふるさと館運営事業  
ふるさと館の運営と地域の歴史、民俗資料の展示・講演・地域方々との連携活動推進  
(鈴木眞)



多面的調査、いじめの事情に合わせた特化指導プログラムを実施し、一定の成果を得ることができた。ま

### 文部科学省委託事業

平成27年度 文部科学省委託研究  
主 題 「いじめ及び不登校をはじめとする諸問題への対応」  
〜学習支援を中心とした福祉と教育の協働〜

27年度も文部科学省「いじめ対策等生徒指導推進事業」の委託研究を受け、標記の主題及び副題を設定した。3か所の「こどもサポート」を学びの居場所にしてきた子どもたちが直面していた、いじめや不登校等の諸問題の解決・改善に向けた実践研究に取り組んだ。多面的調査、いじめの

### 研究協議会報告

報告会では、



「不登校は減少傾向にあるが一人ひとりの対応は難しい。子どもの内面を育てる必要がある」等の挨拶に始まり、研究部長の研究概要、研究推進委員の研究内容の説明に続き、「福祉と教育の協働」「特化指導プログラムによる指導」「中学校卒業後の居場所づくり」の事例報告が行われた。

### 学習支援・居場所づくり事業

平成24年度から始まった川崎市健康福祉局からの受託事業で、当サポーターセンターは市内3カ所に学習支援教室を開室している。生活困難家庭の生徒を対象に、毎週火・木曜日午後6時〜9時は川崎教室と幸教室、水・金曜日は宮前教室でコーディネーター・学習支援専門員の指導の下、学習サポーターが、個別学習を主に学習課題に向かう子ども達の学習支援に当たっている。

また冬期休業期間中には集中講座を開催し、学習はもろんのこと居場所づくりの一助としている。

この3教室で学んだ平成27年度の中学3年生の進路状況は次の通り。進路先での新たな飛躍を期待したい。

(山田)

(高等学校進学者数)  
学習支援川崎教室 (10/11人)  
学習支援幸教室 (17/18人)  
学習支援宮前教室 (11/12人)



続いて協議会では、現場の先生方から、意欲を持って動き出せるために「個別支援計画」や「チェックシート」を参考にしたい、学校でも福祉との協働を実践しているが、いじめを未然に防ぐプログラムの実現を図ってほしいとの発言が、またいじめ対応の実践から「寄り添う」「待つ」ことの難しさ等の発言があった。保護者からは中学校卒業の子どもたちとの連携はどうするべきか、「相談窓口紹介」を小学生にも配布を等々の要望も出された。

最後に運営協議会の岡田委員長から、「チーム学校」やフリースクールにおける評価についての文科省の意向について、また来年度はリスクト(心の連携)が得られる活動をとの示唆をいただいた。

(片山田)

# 学ぶ楽しさ わかる喜び

## 元気いっぱいの子どもたち

### 「ヤッター！」

新1年生をむかえる会で、ドラえもののピアノばんそうのオーデションに受かりました。

オーデションがあることを知ってからというものの、休み時間や家で友だちと遊ばないで、多めにピアノの練習をしました。

オーデションに受かりたくて受かりたくてたまりませんでした。先生が「ピアノはT・Yさんです」と言ったのを聞いた時は頭の中がおかしくなるほどうれしかったのです。笑顔で1年生をむかえたいと思いました。

(小5 T・Y)

### 夢中の音楽をはげみに

私は今、夢中になっていることについて書きます。それは三代めJソウルブラザースのことです。一度ライブに行って歌がうまくてポッキードانسもかっこよくて、すっかり好きになりました。中でも一番かっ



こいいなと思った人はボーカルの登坂さんです。歌がうまいし、やさしい人だから好きです。三代めのツア

は6大ドームもいっぱいになりました。歌にはメンバー一人一人の想いや夢のせられていきます。三代めの活やくや音楽をはげみにして、学校でもサポートセンターでも勉強をがんばりたいと思います。

(小5 H・M)

### 最後まであきらめず

僕にはゆずれない目標があります。その目標実現に向けて、サポートセンターでかかわってくれた先生方がいます。はじめは人づき合いがままならない中で、約1年間学習しました。担当の先生も含め、すべての先生方から温かい言葉をかけてもらいました。

通所してまもなく、自分だけで考え悩むような勉強ではなく、互いが楽しく、そしてなにより僕自身

身が勉強に対して喜びをもって取り組めるようになりました。僕の目標は文系の大学への進学です。そのためには勉強も大切ですが何事も気持ちを強くもって、最後まであきらめずに取り組むことが一番だということを、サポートセンターを通して教えられた気がします。先生方全員に対して感謝の気持ちでいっぱいです。

(中3 K・T)

### 苦手教科も楽しく

私は、中学2年生の時に学校へ行かなくなりまして。サポートセンターに通うまでは勉強はあまりできませんでした。もともと勉強が苦手な方



だったので、自分だけが苦手な方

勉強をしてもあまり効果が上がりませんでした。でも、サポートセンターに通い始めてから、苦手教科の学習も楽しくできるようになりました。わからない問題もマンツーマンでわかりやすく説明していただいたので、よく理解できました。先生方のおかげだと思ひます。今まで応援してくださり、ありがとうございます。

(中3 M・K)

### 知った勉強の楽しさ大切さ

僕はサポートセンターで勉強の楽しさを知ることができました。先生方の教え方が優しく丁寧で、基本的なことだけでなく、応用的なところも教えてくれたからです。おかげで、僕は勉強の大切さ、楽しさを知ることができました。ここに通い始めてから学校での授業態度も大きく変わり、自分の意見を積極的に言えるようになりました。先生にはめられることもふえまし

とうございました。サポートセンターのますますのご発展をお祈りいたします。(中3 保護者)

### 家族の心に一筋の光が差して

サポートセンターとの出会いは、息子の中学3年生からの不登校がきっかけです。以前から学校で辛い思いをした息子は、新年度早々教室へ行くことをやめたのです。

どこかで勉強を教え

ていただけ

る場所を探して、サポートセン

ターに相談に何ったのは6月には

いってからでした。中学校生活で

の心の傷が積み重なっていたこと

もあり、息子は担当の先生に慣れ

ターとの出会いでした。

おかげさまで、息子はこの春か

ら高校生となることができました。

明るく元気に高校生活を過ごして

ほしいと思います。本当にありが



た。僕の将来の夢はバイクの整備士になることです。そのためにも充実した高校生活を送りたいと思っています。(中3 N・K)

### 高校生活に向けて

僕は中学2年生の時、家の事情で外国で生活することになりました。言葉のことなどとても心配でしたが、友だちもできてすごく充実した生活をしました。けれどあまり勉強についていけないまま日本に帰ってくるようになりました。帰国しても、十分に勉強が身につかないまま社会に出て大丈夫か不安でした。そこで母からサポートセンターを紹介してもらいました。苦手な教科もしつかり復習でき

すごくよかったです。それからもしつかりとした高校生活を送りたいと思います。(高1 K・K)

### 合い言葉を胸に

27年度も、こどもサポート宮ノ下には、90人を超える子どもたちが、居場所を求め学習支援の場を求めて集いました。ある子は必死の思いで、ある子はホッとしたり表情を見せながら通い続けているのです。様々な背景を抱えて揺れ動きつつも、一歩前に踏み出そうとする彼らの思いに寄り添い励ます私たちの合い言葉は「子たちに力を！」です。

子どもが大好きな私たちは、彼らの笑顔を力に、これからも活動を続けていきます。(青木)

# 教育相談活動についてののご案内

「子どもが学校へ行けなくなつた。どう対応すればよいのかわからない」「学校の勉強についていけない。将来が不安」など、子ども自身が抱えている様々な不安や保護者の方々の悩みなど教育に関わる相談が数多く寄せられています。相談内容を分類してみると、「学校には行けないけど、勉強はしたい」「高校進学についてもっと知りたい」といった学習に関するものが大多数です。当サポートセンターでは、登校できない状態にある子どもたちへの学習支援も行っています。これまでも子どもたち一人ひとりが、学びの意欲を高め、着実に力をつけています。

## こどもサポート旭町

開設6年めの「こどもサポート旭町」は、川崎区の「思春期問題対策事業」として設置され、0歳から18歳までの子どもたちの支援と拠点づくりを行っています。本所は主に「不登校やひきこもり」の子どもたちに自分らしく安心して過ごせる居場所を提供し、子どもの権利を具現化する取組を推進しています。

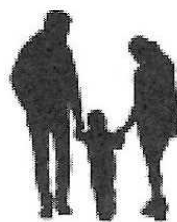
平成27年度特筆すべきことは、週3日から週4日の開所日拡大により登録者の増加、子どもの生活力、登校力に大きな変容を見ることができたことです。

(宮内)

## こどもサポート南野川

「こどもサポート南野川」は、不登校・引きこもりの子どもたちの居場所として開設され8年目を迎えました。小学生から高校生まで通所を前提として約20人の児童生徒が登録をしています。進級や進学をきっかけにして登校できるようになった50人近い児童生徒についても原則3年間は経過観察児として見守っています。折に触れ嬉しい報告や相談事を持って顔を覚えてくれます。季節ごとに楽しめる景色、旬を満喫できる畑の野菜。当所は、ここで交わる様々な人々のオアシスです。

(棹山)



(常木)

- ・相談受付
- ・教育活動総合サポートセンター
- ・電話受付 月々金9時～17時
- ・(土日祝日 年末年始を除く)所在地
- 〒213-0033
- 川崎市高津区下作延5-11-8
- ・電話 044-877-0553

## 日本語支援 東小倉

日本語支援東小倉(幸区)こども学習サポートは、創設4年目を迎え、外国につながる子どもたちもつ子どもたちの日本語や勉強の支援をしています。

自分のアイデンティティを見失わず、日本での生活に馴染んでいけるよう、遊びやお楽しみ会等を企画し、楽しい時間を共有したり、学校生活や進学に対する不安・悩みへの助言を行ったりしています。

子どもたちだけではなく、保護者にとってもホットとできる、ホットな居場所となっていることを実感しつつ活動しています。

(堤)

## 地域の寺子屋事業

「川崎を、一歩先へ」との市長の思いを受けて、子どもたちの放課後の学習活動をサポートする寺子屋事業が平成26年度からスタートした。昨年度、寺子屋「西生田」は年間を通して活動、寺子屋「高津」は9月に活動を開始、年度末の2月には寺子屋「上作延」が開講した。

寺子屋設置の目的としては、「子どもたちに様々な学習機会を提供することにより、学力向上や豊かな人間性の向上を図る」「地域ぐるみで児童生徒の教育及び学習をサポートする仕組みをつくることにより、地域の教育力の向上を図る」「シニア世代をはじめとする地域人材の知識及び経験を活かして、様々な世代で学ぶ生涯学習の拠点をつくる」の三つである。

どの寺子屋も毎週1回の学習支援教室を放課後に、そして月1回の土曜体験教室を行ってきた。主な支援内容としては、宿題・プリント学習やお楽しみ学習等である。土曜体験教室では、参加希望者を募って「図画工作教室」「星空観望会」「囲碁教室」「防災教室」「手芸教室」等を実施した。

対象学年は小2～小6であったが、どの児童も目を輝かせて活動に参加していたことで、計画・企画・準備等の労が報われた思いがしている。

(片桐)



## サイエンスキッズ事業

サイエンスキッズの事業は、ものづくりや自然探究の経験を継続し、学校教育を後方から支援することを目的としています。昨年度は、放課後おもしろ理科教室や夏休みキッズセミナー・サイエンスキッズクラブにおいて延べ519人の参加がありました。

毎回、多くの参加希望者があるのも、日頃の教材の工夫や研究開発に情熱を傾ける先生方の力が大きい。その原動力となっているのが、子どもや保護者の皆さんの喜びや感動です。今年度も充実した活動を展開したいと思います。

(鈴木博)

## 編集後記

昨年度は、私たち教育活動総合サポートセンターにとって記念すべき年であった。様々な就労関係の書類の入念な整理と準備を経て、市民どもも局による厳しい監査の結果「認定NPO法人」の認可を得たことである。13年前に立ち上げられた当NPO法人の長年の夢であり、先輩達の悲願がとうとう実を結んだ。また、新規事業の寺子屋「上作延」のスタートもあったが、その一方で、今まで創意工夫の経営をしてきた「青少年の家」が、準備万端のプロポーザルをもってしても受託できなかったことなど、今後への課題も残った。新たな認定NPO法人の第一歩が今日から始まる。皆さまの多大なるご支援をお願いする。

(本告)

